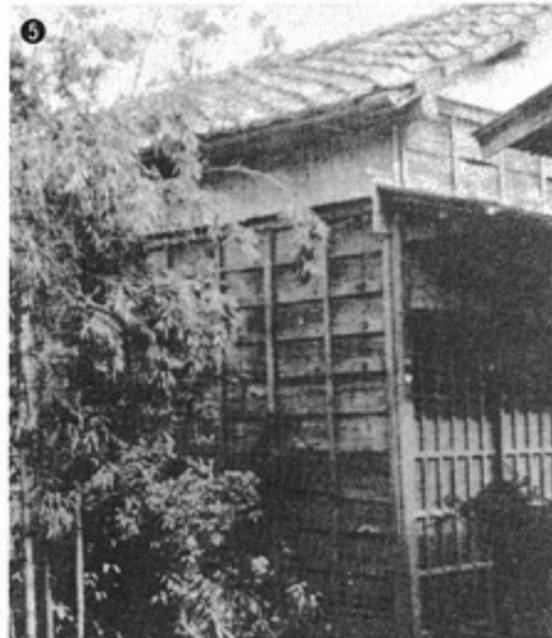






①白秋が居たころの亀井院



⑤昭和22年7月30日、露伴はこの家で息を引きとった。菅野の蝸牛庵。

⑥白幡天神社は娘文(あや)をはじめ晩年の露伴を語る作家の作品に描かれている。

⑦菅野に買い求めた家の前に立つ荷風。



荷風は菅野の地を転々として八幡に落着いた。

- ①杵屋一家と共に最初に住んだ所
- ②フランス文学者小西方に移る
- ③新たに購入した家(写真⑦)
- ④八幡に新居を完成、終焉の所となる。



②小林清親が描いた継橋(部分)白秋夫妻もこの橋を渡った(大正5年秋に改修された)

③昭和44年、里見公園内に移築、復元された紫烟草舎(屋根は瓦に葺き変えられた)

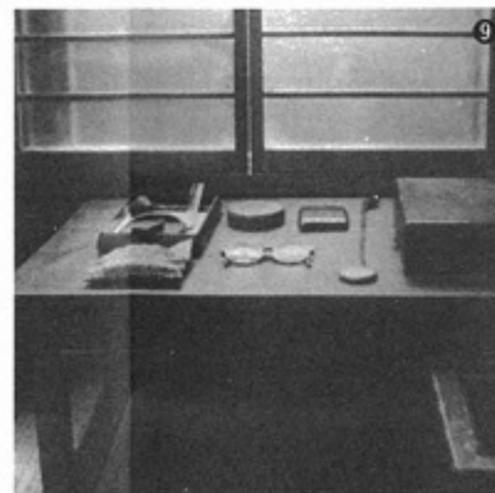
④里見公園より小岩村三谷方面を望む(大正末期の写真)



⑦



- ⑧上から白秋・露伴・荷風の作品
- ⑨荷風の使用した机と文房具
- ⑩荷風最後の晩さん(大黒家にて)



10